

令和5年度市民団体活動支援補助金 中間ヒアリング結果

資料1

団体名	しろい de あそ部	グリーンレンジャー	介護・認知症の家族と歩む会・白井	白井健康元気村	白井再生可能エネルギー協議会	特定非営利活動法人 sketch 倶楽部
補助金の種類	活動促進型 (採択額 7 万円)	活動促進型 (採択額 7 万円)	活動発展型 (採択額 10 万円)	活動発展型 (採択額 15.1 万円)	活動発展型 (採択額 14.9 万円)	活動発展型 (採択額 15.2 万円)
事業概要	<p>【事業名】 みんなの居場所づくり事業</p> <p>【事業目的】 子どもが地域の人々と交流できる場所を作り、地域交流を促進する。</p> <p>【内容】 まちサポ・多目的ホールでアナログゲームなどを使った地域の人と交流できるイベントなどを開催し、みんなの居場所を作ります。</p>	<p>【事業名】 南山公園の葛等除去事業</p> <p>【事業目的】 県、市と連携を取り、公的管理が及ばない範囲の葛、雑木、笹竹等を除却することにより、景観の回復、維持、向上を図ること。</p> <p>【内容】 南山公園・法目川防災調節池に繁茂する葛、雑木、笹竹等の伐採、除去を行う。</p>	<p>【事業名】 認知症本人・介護家族が笑顔で暮らせるまちづくり</p> <p>【事業目的】 認知症本人と在宅で介護をする家族が笑顔で安心して過ごせる日常」が目的。</p> <p>【内容】 講座・相談会・交流会・訪問相談随時行う。ちょっと役に立つお知らせ・講座内容 DVD など各種配布。</p>	<p>【事業名】 高齢者の健康寿命・元気寿命延伸の為に教室開設及び広報の実施</p> <p>【事業目的】 高齢化社会における「健康寿命」「元気寿命（気力と生きがいに満ちた生活）」の維持延伸は、活気ある市民生活の為に、更には市の医療行政にとっても避けて通れない課題と認識し、「健康教室」「終活教室」を全市民対象に実施する。</p> <p>【内容】 「健康教室」「終活教室」の実施</p>	<p>【事業名】 地産地消による再生可能エネルギーの開発利用の普及推進</p> <p>【事業目的】 白井市民を対象に地域に密着した地産地消型の再生可能エネルギーの開発利用の普及啓発を図るため、関連する映画の上映会、専門家による講演会、パネル展示会を開催するとともに、市民及び農業従事者を対象に、太陽光を高度利用するソーラシェアリング農業を実践している農家の農耕地の見学会を開催する。</p> <p>【内容】 ①再エネの活用例としての映画・講演・パネル展示を実施 ②再エネの活用例としてのソーラシェアリングの実例の見学会を実施</p>	<p>【事業名】 食の継承・創造と文化体験の融合事業</p> <p>【事業目的】 多様性のある交流の場づくり「食未来まちづくりプロジェクト」から発展させ、食の継承と創造・文化体験の融合事業を行う。その目的は第一に食の継承・創造を縦軸にした未来への地域資源を描く、第二に文化体験を横軸にした多様性のある交流の場づくりで地域の活性化をめざしていく。</p> <p>【内容】 【和菓子地域課題とまちづくり】研究事業 【多様な交流の場としての茶道体験】交流事業</p>
補助事業の進捗事業について、計画通りに事業は進んでいるか	<p>(1) 進められている部分について ・毎月定期的なイベントは実施できている。 (主催するもの・センター主催のイベントへも積極的に出店している)</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因 ・当初予定していたレンタル事業は実施できていない。 公式LINEの活用などはできているが、レンタルに当たり解決すべき事項が多く、白紙状態であるため。</p> <p>(3) 下半期の活動計画について ・予定通りイベントを開催していくもの。</p>	<p>(1) 進められている部分について 1) 調節池法面の除草作業は、予定通り毎週木曜日に2時間実施してきた。 2) 6月に白井市沿道みどりの推進事業補助金で花苗(マリーゴールド)を購入し、植付けた。</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因 1) 笹竹は部分的には伐採したが、笹竹の処分方法が確定していないため、本格的には進めていない。 2) 猛暑期(7月中旬~9月末)は作業を休止していたため、補助金で予定していた備品、消耗品はまだ購入していない。</p> <p>(3) 下半期の活動計画について 1) 上半期と同様に除草作業を行う。 2) 12月に白井市沿道みどりの推進事業補助金で花苗(パンジー)を購入し、植付ける。</p>	<p>(1) 進められている部分について 市民同士が助け合う生活圏(町会)の“絆”の再生については従来のチラシに加えて「手渡しハガキ」のスタートで個々の繋がりが広がられると思います。</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因 市内の他の団体との共催については進んでいない・原因としては地域性、市民生活に溶け込めていない(我々の努力不足)</p> <p>(3) 下半期の活動計画について 人と人の繋がりを基に置く活動を中心に「手渡しハガキ」など、地域市民との講座・交流会・相談会を引き続き開催していく</p>	<p>(1) 進められている部分について 健康教室2回、計画通り。ただし2回目は講師都合で実施月2か月遅れ。 終活教室1回計画通り実施済み。</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因なし</p> <p>(3) 下半期の活動計画について 健康教室、終活教室共に講師の先生とのアPOINTは取れており、会場予約も完了している。</p>	<p>(1) 進められている部分について 再エネの活用例としての映画、講演、パネル展示を実施</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因 再エネの活用例としてのソーラシェアリングの実例の見学会を実施予定(11月)だが、問題発生により再検討中</p> <p>(3) 下半期の活動計画について 現状は予定通りに進行中です</p>	<p>(1) 進められている部分について 【8/11(祝)星空の茶道体験会】オリジナル創作和菓子の依頼。プラネタリウム企画とのコラボレーション。</p> <p>【9/16(土)他市民団体とのばらっぱづくり】わくわく子どもひろばでのばらっぱ提供。</p> <p>(2) 進められていない部分について、その原因 郷土の食文化(ばらっぱ)継承のコンテンツ作成中。</p> <p>(3) 下半期の活動計画について 10/29(日)白井高校企画(白井駅前マルシェ)でのばらっぱ販売協力。同校卒業生。高校生向け「ばらっぱ饅頭」レクチャー(歴史・文化)予定。継承の機会の創出。</p>

<p>補助金の活用状況について計画通りに活用しているか</p>	<p>(1) 活用できている部分について スタッフユニフォームや場所代、参加者(子ども)への茶菓代や、ボードゲームの購入費用などで活用させていただいています。</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 ボードゲームのレンタル事業は未実施で、それに伴う備品購入はしていない。</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について ・予定通り開催するイベントでの場所代、茶菓代などに活用していきます。</p>	<p>(1) 活用できている部分について 現時点ではまだ備品(刈払い機)、消耗品(鋸、剪定鋏、高枝切り鋏等)を購入していない。</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 既述したように、猛暑期は作業を休止していたため、補助金で予定していた備品、消耗品はまだ購入していない。</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について 予定通り備品、消耗品を購入して作業の効率化を図りたい。</p>	<p>(1) 活用できている部分について 活動(講座・相談会・交流会)の広報活動(新聞折り込み委託料・会場費)などに活用</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 ほぼ予定通りに進んでいます。</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について 通信費(切手はがき等)委託料(新聞折り込み等)広報活動に重点を置いて</p>	<p>1) 活用できている部分について ほぼ計画通り。ただし広報関係費として直接個人宛郵送費の支出あり。</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 特になし</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について 健康教室、終活教室ともに決定しており問題はないと思われる。 すでに関連支出額は12万円となっているが、財政面での問題はない。</p>	<p>(1) 活用できている部分について 金額の多少増減はありますが、ほぼ予定通りで進捗中です。</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 ばらっば研究の成果をカタチできていない。白井高校とのコラボレーションが実現することになったので、今後具現化していく方向。</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について 2024/1/6(土) 新春茶道体験予定</p>	<p>(1) 活用できている部分について コラボ企画によって茶道、プラネタ双方の参加者拡大に寄与。地元菓匠の協力を得て創作和菓子を企画、産業の活性化の視点でつながる。</p> <p>(2) 活用できていない部分について、その原因 ばらっば研究の成果をカタチできていない。白井高校とのコラボレーションが実現することになったので、今後具現化していく方向。</p> <p>(3) 下半期の補助金活用について 2024/1/6(土) 新春茶道体験予定</p>
<p>市民活動推進委員からの審査コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の市民が中心となって、コロナ禍で失われた「つながり」を復活させる良い取り組みだと思えます。 ・これまでの実績もあり、今後の発展にも期待しています。 ・広域(市内各センター等)での活動を展開させることでより広範囲の市民の参加やつながりを促進したり、「自習」と「あそび」のバランスをしっかりと考慮した活動を心がけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回申請の課題を解決され市民の自発的活動として評価します。 ・整備後の活用も検討していただき、子供たちをはじめ多様な世代が市民参加できる活動になるような展開も検討してください。 ・南山小学校区のまちづくり協議会との連携にも期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻化が懸念される認知症について、地域ベースで取り組み、多世代への広がりも評価します。 ・関連する福祉分野の学生の参加や交流等について、今後も一層の広がりを期待します。 ・本年度が最後のため、次年度以降の収支計画を見据えた展開も期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら健康に向けた取り組みを行い、自己財源も確保し評価します。 ・市民をはじめ、福祉分野の学生などとの交流についても検討してください。 ・本年度が最後のため、引き続き、若手世代の巻き込みや自己財源の拡充を進め、団体と事業の継続へつなげていくことを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの利用促進に向けた草の根活動であり評価します。 ・見学会については地元農家をしっかりと呼び込めるように工夫をしてください。 ・地元農家へのアプローチの一つとして、太陽光同様に地元の資源であるバイオマス分野等にも取り組むことも検討してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの活動が継続・発展し、新たに「ばらっばまんじゅう」等の取り組みにつながり評価します。 ・茶道体験が単なる茶道を体験するだけではなく、地域農業・食文化の視点も欠かさないように留意してください。 ・目指す将来像の具体的なイメージの構築を行い、効果的な事業推進のための焦点化を図ってください。
<p>対応について</p>	<p>実際に市内の小中学生がイベントを通し、交流しており、当団体の狙いは果たせていると感じています。 市内各センターや学童・放課後子ども教室などからの依頼を受け、実施したイベントも多数で、広域的な活動ができていると自負しています。 「あそび」といっても、新たに触れるゲームを遊ぶためにはルールを理解し、相手を尊重した振る舞いが必要です。参加者の年齢等に応じて提案するゲームを変えており、各人「まなび」があるものと考えて事業を実施しています。</p>	<p>現時点の作業場所は法面が多いため子どもたちの参加は難しい。 しかし今後は南山小学校区まちづくり協議会の「まちづくり計画」で他の地域団体や学校等との協働事業(例えば、南山公園内の旧水生園への花植え)を提案し、子どもたちも参加できるような安全な作業を展開していきたい。 なお当団体の事務局長は南山小学校区まちづくり協議会設立準備会の会長であることもあり、十分な連携を図ることとしたい。</p>	<p>市民の体験者と交流会・相談会の輪をより広げて、手渡しハガキ等による人とのつながりを重視して行きたいと活動しています。また、若い層へのPRにも力を入れたいと思っています。 市の広報や地元紙の協力など期待します。他市も含めて共催やミニマルシェでの交流を進めています。</p>	<p>毎月2回パークゴルフ同好会の実施。公園清掃への積極参加。 懇親旅行、カラオケ大会の実施等、積極社会参加で健康づくりを実施。 白井高校とは連絡先を確保、時機を見て交流以来の予定。</p>	<p>市民に対する再エネの啓発という点では映画上映会、講演会、パネル展示に100名の来場があり、予定通りの成果であった。農業従事者に対する勧誘ではなかなか難しい面もあり、現在検討中です。</p>	<p>「ばらっばまんじゅう」が白井高校との協働によって、地域資源の教材研究につながるよう、今後も検討していきたい。 茶道体験は総合芸術への理解につながる取り組みとして掲げている。今後は地域食材である「自然薯」を活用した薯蕷饅頭の提供も例年通り進める予定。 「食」「文化」は地域の資源として、これからも深めていくテーマであり、独自事業である「食未来まちづくりプロジェクト」との連携を図っていきたい。</p>

<p>団体活動の活性化と自立の課題について</p>	<p>主催イベントはリピーターが多く、新しい参加者にも来て欲しいと考えている部分はある（ただスタッフの数や場所的に現状が限界なところもある）。 資金については、参加者から一部費用をいただき、センターや放課後子ども教室などから依頼を受けるものなどは援助をいただけるよう交渉している。 情報発信は、しろいまっちやLINE公式アカウントを活用している。</p>	<p>現在の会員数は12人であるが、高齢者ばかりなので常時活動できるメンバーは5～8人程度になっている。会員の拡充に向けて当団体の活動の周知に努めたい。</p> <p>なお、活動は収益を生む事業ではないので自立化は難しい。伐採した竹で竹灯籠を制作・販売したり、作り方教室を開催するなどの収益事業も考えられるが、現時点では実現化の目途は経っていない。むしろ竹を伐採して搬出すると事業用ごみとして回収費用を当団体が負担することになるので、伐採が思うようにできないのが現状。</p>	<p>今年度の活動目的は人の輪づくり 活動場所の確保、ミニマルシェ等での資金の安定的確保 新しいグループの立ち上げに協力していきます。</p>	<p>現在は30名を超える村民を維持できており、村民の健康維持がポイントになる （公園清掃が収入源なので）</p>	<p>再エネの中でも、ソーラーシェアリングの2件目、3件目への展開の為に農業従事者あるいは、農業従事希望者の入会が必要と考えられる。そのためには、産業振興課との連携をより一層深める必要がある。</p>	<p>プラネタ×茶道とのコラボ企画を進めるとあたり、和室貸出に関して中ホールの施設使用料が必要であり、補助金なしでは成り立たない。プラネタ企画との委託事業や和室の単独使用の実現がなくては、自立は難しいと考える。 今後も茶道体験を続けていくが、地域資源を活用するために別の方法も検討する必要があると思慮。</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>集約と集中が必要と考えている。 現在は、月2回以上のイベントを開催しているが、月1回程度に減少させ、テーマなどを絞ったイベントを開催していきたいと考えている。</p>	<p>2020年12月に設立以来2年を経過し3年目を迎えているが、これまでは除草作業が中心となっていた。次年度以降は次の展開を図りたい。 1) 笹竹を伐採しチップ化することの目途を立てること（課題：粉砕機の購入、騒音対策） 2) 花木の植栽（桜、藤） 3) 「南山小学校区まちづくり協議会」で学校や他団体との協働作業の検討</p>	<p>「手渡しハガキ」をさらに広め人の輪・経験の交流を日常に市民同士の繋がりを推進していきます。 今年度前半の活動の結果、多くの支援の具体的提案を頂いています。</p>	<p>補助金がなくなるので、講師謝礼、講座開設会場費、広報費用などの見直しは必須条件、補助金活用時と同様の開催規模は困難になる。特に開催場所の選定は無づかしくなると思われる。 問題点として、中央地区開催は適切な交通手段がなく来れない人（参加したいが・・・）の対応は生活圏毎が要求されるので問題は残る。</p>	<p>農業従事者あるいは、農業従事希望者への働きかけの新たな工夫を図っていきたい。</p>	<p>食文化継承活動としてばらっぱ研究を進める企画を打ち出すことによって、関心を持つ関係人口を増やしていくことが望ましいと考える。</p>